

月刊



湖国が滋る・水と緑の街づくり

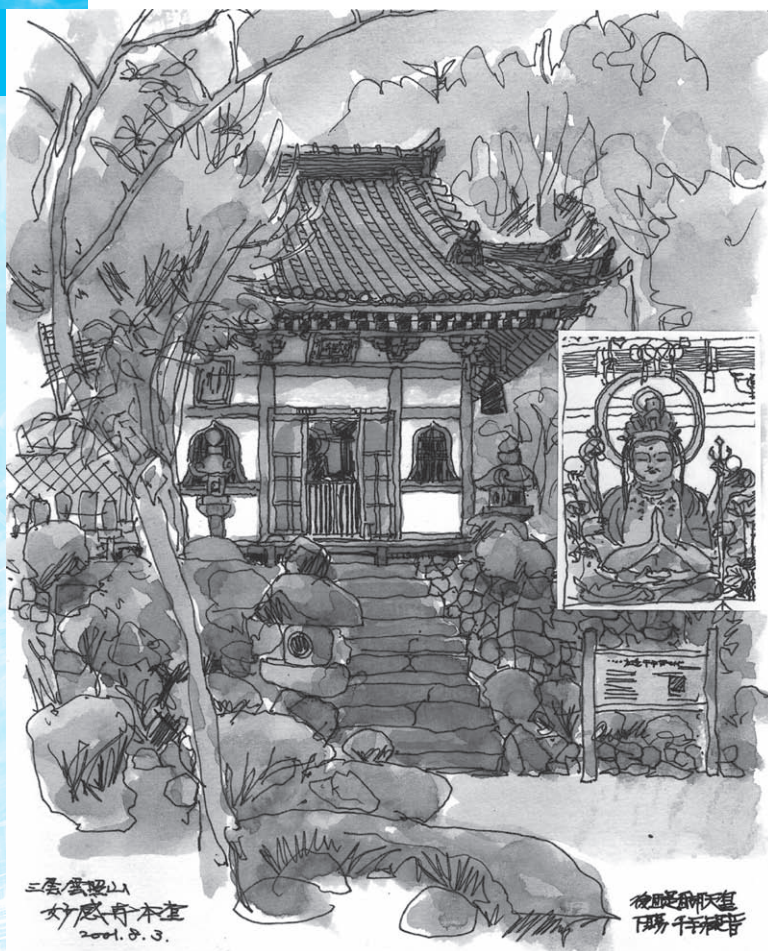
平成26年3月1日発行 通巻218号
 昭和40年8月21日第3種郵便物認可
 発行/公益社団法人 滋賀県建築士会
 〒520-0801
 滋賀県大津市におの浜1-1-18 建設会館 3F
 TEL077-522-1615 / FAX077-523-1602

公益社団法人 滋賀県建築士会

URL : <http://www.kentikushikai.jp/> mail : shiga-sa@mx.bw.dream.jp

CONTENTS

- ・まちづくり委員会
第5回「未来の家」「未来のまち」
子ども立体作品展、第7回「建築士」
フェスティバル報告 2
- ・建築士試験運営チーム
平成25年度 二級・木造建築士
免許証明書交付式 開催報告 3
- ・青年委員会
「研修旅行2014 in広島」報告 .. 4
- ・平成26年建築設備士試験の案内 .. 5
- ・マンション健康診断技術者講習会
開催のご案内
- ・建築文化講演会 6
- ・大津・湖西滋賀地区委員会
平成25年度 フォーラムの御案内 .. 7
- ・地区だより..... 7~8
湖東地区
湖北地区
- ・機関誌「家」2014号「会員の声」
原稿募集
- ・3月の暦
- ・足のむくま 近江再発見 第18回



雲照山妙感寺

雲照山妙感寺（臨済宗妙心寺派）は、南北朝時代、大本山妙心寺派二世微妙大師によって創建されました。大師とは建武中興の元勲萬里小路中納言藤原卿である。藤原卿は、公卿時代から大徳寺開山の大燈国師に就いて参禅し、建武元年（1334）39歳で出家授翁宗弼と号して諸国を行脚されたのち、妙心寺開山無相大師に就いて修行、大悟されて正平15年（1360）に妙心寺の二祖となられました。かつて公卿時代の知行地であったこの三雲の郷に草庵を結ばれたのは42歳の頃。その後、後醍醐天皇念持仏の千手観音を泰安する持仏堂を建立されたのが妙感寺の始まりです。

湖南市観光協会HPより抜粋

第5回「未来の家」「未来のまち」子ども立体作品展、 第7回「建築士」フェスティバル報告

去る2月1、2日、イオンモール草津において、第5回「未来の家」「未来のまち」子ども立体作品展、第7回「建築士の日」フェスティバルを行いました。

1、2日の二日間にわたり、2階イオンホールにて、子ども立体作品展を開催し、県内幼稚園27園、148点の作品を展示し、2200人余りの方に来場いただきました。

1日の土曜日には「建築士」フェスティバルを1階セントラルコートにて県内の工業高校生徒の作品展示、防災防火啓発、耐震診断・耐震改修の啓発、建築・住まいの相談会、積み木遊び広場、建築士会活動報告の展示を行い、広く建築士の役割をアピールできました。また、共催、後援頂いた各行政、県立工業高校の方々とも交流でき、一般の方々や、関連団体の方々に広く「建築士会」をアピールできる事業となりました。

この事業にかかわって頂いた皆様に感謝の意を表し、報告いたします。



フェスティバル



作品展



表彰者



知事賞作品

平成26年2月15日（土）に二級・木造建築士免許証明書交付式を「ピアザ淡海」にて（公社）滋賀県建築士会の主催で執り行いました。

二級建築士64名（受験者数336名）、木造建築士22名（受験者数40名）計86名の新建築士の旅立ちに、滋賀県土木交通部建築課 建築指導室長の小嶋裕司氏の臨席を賜り、山本会長に依る免許証明書交付に引き続き、建築課の岡崎氏に依る「建築士のでびき」をもとに建築士の心構えについて、姉川渉外事業委員会副委員長に依る「建築士業務を進める上での注意事項」の説明を行いました。

今年度は交付式終了後会員増強特別委員会によります、出席者の方との交流会があり、建築士になられた方々と会員が親しく懇談をして建築士会への入会を勧誘しました。

参加された新しい建築士の皆さんはよく理解され、近い将来は建築士会に入会したいとの発言も見られ有意義な祝賀会となりました。この後のフォローをしっかりとこなって一人でも多くの会員増強に努めるよう意を強くした交付式でありました。



免許証明書交付式



免許証明書交付



建築士会の紹介



懇談会

青年委員会では2014年1月25日(土)、26日(日)の2日間にわたり、広島県へ研修旅行に出かけました。自然と地形を調和させる建築家・三分一博志氏設計監修の宮島弥山山頂展望台での研修や旬の食材豊富な瀬戸内グルメを楽しむ旅行となりました。

● 1月25日(土)

寒空の中、新大阪から新幹線、バス、フェリーを乗り継ぎ、世界遺産・日本三景の島、宮島へ到着しました。三分一博志建築設計事務所の繁永氏による案内により、弥山山頂展望台を目指しました。ロープウェイを含めて片道約1時間半かけてたどり着いた山頂にて設計概要の説明・質疑応答等の研修となりました。小雨が降り出すあいにくの天気でしたが、大自然と近代建築を身近に感じることができました。下山後は厳島神社や千疊閣の拝観、活気ある商店街でそれぞれ買い物を楽しみました。

夜は広島市内に戻り宿泊先近くにて、広島県建築士会青年委員会、女性委員会のメンバーを交えての懇親会を開催しました。お互いの活気あるエネルギー交換の場となり両県の親睦をはかることができました。

● 1月26日(日)

2日目は大和ミュージアムとてつのくじら館へ行きました。戦艦「大和」や「零戦」といった歴史のある展示物を楽しむと共に、「ハートビル認定」「蓄電池システム」「太陽光発電採用」といった近代建築の要所を押さえた研修となりました。

広島産の焼き牡蠣等の海鮮グルメに舌鼓を打ち、ガラスルーバーと吹抜けアトリウムの印象的な広島市西消防署を見学したのち、原爆ドーム、平和記念資料館、平和記念公園周辺の散策も行い、短期間ではありましたが広島の魅力を十分に詰め込めた内容の研修旅行となりました。

大きな事故やトラブルもなく、参加者25名全員が無事に研修旅行を終了できました。参加者間で非常に有意義な時間を共有できたと思います。最後になりましたがご参加頂きました皆さま、本当にありがとうございました。



平成26年建築設備士試験の案内

平成26年 2月

公益財団法人 建築技術教育普及センター

建築設備士試験は、建築士法第20条第5項及び同法施行規則第17条の18に基づき、国土交通大臣の登録(登録学科試験及び登録設計製図試験)を受けた登録試験実施機関である公益財団法人 建築技術教育普及センターが実施しているものです。

建築設備士制度は、建築設備の高度化、複雑化が進みつつある中で、建築設備に係る設計及び工事監理においてもこれに的確に対応するために、昭和58年5月、建築士法の改正時に創設されました。

建築士法第20条第5項においては、建築士が、大規模の建築物その他の建築物の建築設備に係る設計又は工事監理を行う場合に、建築設備士の意見を聴いたときは、設計図書又は工事監理報告書において、その旨を明らかにしなければならないこととされています。また、建築基準法による建築確認申請書、完了検査申請書及び中間検査申請書においても、その旨を明らかにしなければならないこととされています。

建築設備士は、建築設備全般に関する知識及び技能を有し、建築士に対して、高度化、複雑化した建築設備の設計及び工事監理に関する適切なアドバイスを行える資格者として位置付けられています。

■試験のスケジュール

(1)試験日及び時間割

試験の区分	試験日	時 間 割	
「第一次試験」 (学 科)	6月22日(日)	9:45~10:00 (15分)	注意事項等説明
		10:00~13:00 (3時間)	建築一般知識、建築法規
		13:00~14:00 (1時間)	休 憩
		14:00~14:10 (10分)	注意事項等説明
		14:10~17:10 (3時間)	建築設備
「第二次試験」 (設計製図)	8月24日(日)	10:45~11:00 (15分)	注意事項等説明
		11:00~16:30 (5時間30分)	建築設備基本計画、建築設備基本設計製図

※平成25年の試験の「第一次試験」(学科)に合格している場合、本人からの申請により平成26年の試験の「第一次試験」(学科)が免除されます。

(2)試験地

札幌市、仙台市、東京都、名古屋市、大阪府、広島市、福岡市及び沖縄市*

※沖縄県については、「第一次試験」(学科)のみ実施します。また、沖縄県で「第一次試験」(学科)を受けた受験者については、原則として「第二次試験」(設計製図)の試験地を福岡市とします。

インターネットホームページ (<http://www.jaeic.jp/>) で制度案内、受験・資格に関する情報を提供しています。

建築基準法第12条の定期調査のための 平成26年 鉄筋コンクリート系

マンション健康診断技術者講習会開催のご案内

主催：一般財団法人 日本建築防災協会

建築基準法第12条第1項に基づき定期調査を行う特殊建築物調査資格者、1級建築士、2級建築士を対象に、特に鉄筋コンクリート系マンションの定期調査に秀でた定期調査専門技術者を養成して、マンション管理組合における適正な維持管理をサポートするため、下記により講習会を開催します。

特殊建築物等の定期調査業務に携わる皆様には、是非この機会に受講され、鉄筋コンクリート系マンションの定期調査に係る専門技術を習得され、今後の業務に活用されますようご案内いたします。

1. 受講対象：特殊建築物等調査資格者(登録特殊建築物等調査資格者講習修了者)、1級建築士、2級建築士
2. 開催地・期日・会場・定員

開催地	開催期日	会 場		定員
大 阪	平成26年3月25日(火)	大阪YMCA会館2Fホール	大阪市西区土佐堀1-5-6	140名
東 京	平成26年3月27日(木)	発明会館地階ホール	港区虎ノ門2-9-14	160名

3. 受講料：18,000円(テキスト・技術者証代、消費税込み。既納の受講料は返金いたしません。)
4. 受講申込み方法

インターネットによるお申し込み(振込手数料等はかかりません)

・下記へアクセスし、画面の案内に従ってお進みください。

<http://www.kenchiku-bosai.or.jp/workshop/index.html>

～時間の中の建築・建築の中の時間～

東日本大震災から1000日が過ぎ、ようやく復興の兆しがうかがえる状況になって来たとは言え、まだまだ多くの課題が山積する中で新しい年を迎えました。今を生きる我々にとって先行きは依然として不透明な感がある中で、確かな道を探ることも大事なことであります。今般、近代建築史や建築設計の分野で近代技術文明に厳しく問いかけをされている松隈 洋先生をお招きし、下記により講演会を開催致しますので、多くの皆様に参加いただきますようご案内申し上げます。

講師

まつくま ひろし
松隈 洋 氏 (京都工芸繊維大学教授)

プロフィール

1957年 兵庫県生れ
1980年 京都大学工学部建築学科卒業
同年 前川國男建築設計事務所に入所
2000年 京都工芸繊維大学助教授
2008年 京都工芸繊維大学教授



《略歴》専門は近代建築史、建築設計論。2000年よりDOCOMOMO Japan メンバー。2013年5月より同代表。2005年～2006年「生誕100年・前川國男建築展」実行委員会事務局長を務める。主な著書に『ルイス・カーン構築への意思』（丸善）、『近代建築を記憶する』（建築資料研究社）、『坂倉準三とはだれか』（王国社）、『残すべき建築—モダニズム建築は何を求めたか』、共著に『再読／日本のモダン・アキチヤ』（影国社）、『日本建築様式史』（美術出版社）、『近代日本の作家たち—建築をめぐる空間表現』（学芸出版社）、『関西モダニズム再考』（思文閣出版）、『原発と建築家』（学芸出版社）、編著に『前川國男—現代との対話』（六耀社）、共編著に『建築家・前川國男の仕事』（美術出版社）など。展覧会キュレーションに「文化遺産としてのモダニズム建築—DOCOMOMO 20 選」展（神奈川県立近代美術館、2000年）、「文化遺産としてのモダニズム建築—DOCOMOMO 100 選」展（松下電工汐留ミュージアム、2005年）があり、レーモンド、坂倉準三、シャルロット・ペリアン、白井晟一、丹下健三、村野藤吾など数多くの建築展の企画にも携わる。東京理科大学、京都造形芸術大学非常勤講師、文化庁国立近現代建築資料館運営委員。

- ・開催日時 平成26年 3月 11日(火) 15:00～17:00 (受付14:30より)
- ・場所 琵琶湖ホテル 3F るりの間 大津市浜町2-40
- ・定員 100名
- ・参加費 1,000円 (学生は無料)
- ・主催 一般社団法人滋賀県建築設計家協会 公益社団法人日本建築家協会近畿支部滋賀地域会
一般財団法人滋賀県建築住宅センター
- ・共催 公益社団法人滋賀県建築士会 一般社団法人滋賀県建築士事務所協会
滋賀県建築設計監理事業協同組合
- ・JIA CPD 2単位 JIA、建築士会員でCPD取得を希望されます方は、受付で氏名・建築士登録番号又はCPD登録番号を申し出下さい。
- ・申込方法 下記の申込書によりお申し込み下さい。【締切3月4日(火)】
電話でのお申し込み可 【TEL 077-522-1460】
- ・問い合わせ先 一般社団法人滋賀県建築設計家協会

15:00～15:10	開会挨拶	一般社団法人滋賀県建築設計家協会 会長 中山 正勝
15:15～17:00	時間の中の建築・建築の中の時間	京都工芸繊維大学教授 松隈 洋

・講演会参加申込書

FAX 送信用 (077-526-0918)

所属名

氏名

TEL

日 時 平成26年3月18日(火)

13:30受付開始

14:00~16:10



場 所 大津市民文化会館 多目的ホール

(大津市御陵町2番3号 TEL:522-7165)

※会場は、駐車場が少ないので、公共交通機関(電車、バス)をご利用ください。

定 員 100名 (FAXによる申し込み先着順とし、定員になり次第締切ります。3/14最終締切)

参 加 費 無 料

内 容 (1)開会あいさつ (14:00~) (公社) 滋賀県建築士会大津地区委員長
大津市都市計画部建築指導課長
(2)フォーラムの内容 (14:10~16:20) 講 師
・耐震改修促進法の改正要点と運用について 滋賀県土木交通部建築課建築指導室
・施行令第39条による天井落下防止の要点について(4月1日施行)
(有松村構造計画
(休憩 10分)
・最近における消防法の改正について 大津市消防局予防課予防係
・その他、質疑応答
(3)閉会あいさつ (16:30~16:40) (公社) 滋賀県建築士会湖西滋賀地区委員長

フォーラム 参加申し込み書				大津地区事務局 FAX077-544-6500まで	
参加者 住所					
参加者 氏名			連絡先(携帯)		
所属地区(建築士会)	大津	湖西滋賀	その他()		
所属支部(事務所協会)	大津	その他()	・ 会員外		

地区だより

湖東地区

(CPD認定セミナー)湖東地区 研修見学会開催について(ご案内)

日 時:平成26年4月9日(水) 10:00出発

(現地へはバスが出ます)

集合場所:近江八幡駅東口

場 所:吹上ホール

愛知県名古屋市千種区吹上二丁目6番3号

参 加 費:無料

内 容:①外装、建材メーカーによる商品展示会への参加

②戸建住宅の設計の進め方セミナーへの参加

③東海地区歴史的建造物の見学

現地へはバスを用意してあります。

集合場所は近江八幡駅東口 10:00出発

湖東地区以外で参加希望の方は、お名前、連絡先(携帯番号)を0749-46-0941(春日鉄工 奥村直樹)までFAXして下さい。(湖東地区の方には、往復ハガキでご案内いたします)

湖北地区

新春家族ボーリング大会

日 時：平成26年 1月25日(土)

場 所：長浜スプリングレーンズ

毎年恒例の新春家族ボーリング大会を長浜スプリングレーンズにて行いました。賛助会会員の家族も含め40名という多くの方に参加して頂きました。参加家族和気あいあいの中ゲームも進み、ゲーム終了後、懇親会と表彰式をおこないました。表彰式では、発表のたびに歓声があがり、大変盛り上がりしました。

成績は優勝は細江広久さん、準優勝は片桐正智さんでした。



機関誌「家」2014号「会員の声」原稿募集

機関誌「家」2014年号に掲載します『会員の声』の原稿を募集いたします。

日常業務や社会のこと、趣味や家族など内容は問いません。写真・資料等を含む1600字程度で原稿をお寄せください。

詳しくは、(公社)滋賀県建築士会事務局までお問い合わせください。

3月の暦

1	土	友引	第1回 青年建築士交流会 あーき塾	11	火	赤口		21	金	仏滅	春分の日
2	日	先負		12	水	先勝		22	土	大安	
3	月	仏滅		13	木	友引	四役会・理事会	23	日	赤口	
4	火	大安		14	金	先負	情報広報委員会	24	月	先勝	
5	水	赤口		15	土	仏滅		25	火	友引	
6	木	先勝	総務企画委員会	16	日	大安		26	水	先負	
7	金	友引		17	月	赤口	まちづくり委員会	27	木	仏滅	
8	土	先負		18	火	先勝	建築フォーラム	28	金	大安	
9	日	仏滅		19	水	友引	第4期定期講習会(ビバ シティー彦根)	29	土	赤口	
10	月	大安	青年委員会	20	木	先負		30	日	先勝	
								31	月	先負	

足のむくまま 近江再発見 雲照山妙感寺

本堂は後醍醐天皇御下賜の千手観音を安置するため
大師が創建した持仏堂であったものを、石部城主三雲新
左衛門が弘治元年(1555)に再建。元亀元年(1570)に織
田信長の焼き討ちに遭いましたが、万治年間(1660年頃)
に愚堂国師によって再興されました。大正2年(1913)に
は宮内省より御下賜金を賜り、微妙大師の塔所が改修整
備され現在に至ります。 湖南市観光協会HPより抜粋



妙感寺本堂



本堂泰安の千手観音